

学校教育目標
重点目標

「つながろう やりぬこう」
「すすんで やる子」

子どもたちの成長に感動！！

校長 望月 秀一

朝夕の冷え込みと、日中の温かさに季節感がつかめず、戸惑っている毎日です。

11月4日に行われた、神戸地区文化祭では、**3・4年生の新地名選挙**の取組に、保護者の皆様をはじめ、多くの地域の皆様に、ご声援をいただきまして心より感謝いたします。残念な結果に終わりましたが、学校教育目標に掲げた『**つながろう やりぬこう**』を達成できたと思っています。地域の方々とおふれあったり、呼び掛けたり、一つの目標に向かって子どもたちが生き生きと輝く姿がたくさん見られました。その後のふりかえりの中で、子どもたちにどんな力が身に付いたか聞いたところ、「恥ずかしい気持ちがあったけれど、みんながいたからここまでできた。」「チラシ配りはドキドキしたけれど、温かい言葉を掛けられて嬉しかった。」「仲間と一緒に活動する中で、今までと違った自分に出会えた。」

私は、このふりかえりを読んで胸が熱くなりました。仲間と一緒に取り組むことの大切さや人とふれあう中での温かさなど、仲間や多くの人との関わりの中で子どもたちは、大きく成長できたと思いました。改めて、子どもたちの素直な心で、ひたむきに取り組む姿に感動しました。この子どもたちの心こそ、神戸地区の宝であり、今後も、大切に育てていきたいと感じました。



6年生は東京方面に**修学旅行**に行って来ました。「日本の首都東京で 時間を見て学ぼう！楽しもう！」のスローガンを掲げ、仲間と協力し、時間をしっかり守って取り組むことができました。その中で、二日間を共にした、バスガイドさんと添乗員さんから子どもたちをたくさん誉めていただきました。一生懸命子どもたちのためにバスの中を楽しませようとするバスガイドさんの姿を見て、子どもたちは心が通ったのでしょうか。一人の子が「ガイドさんも一緒にもんじゃ焼きを食べようよ。」この一言の優しさに感動したようでした。人を思いやる心が育っていること。話を真剣に聴こうとする姿。ガイドさんがごみを集めに行った時も、「ありがとうございます。」という子どもたちを見て、**あたりまえのことができる子どもたちの姿**に感激していました。私は、校長として、ここでも胸が熱くなりました。この子たちを誇らしく思いました。すばらしい修学旅行であったと今でも思います。



昨日は、**持久走大会**を行いました。晴天の元、コースもグラウンドに変え、どの子も力一杯、自分の目標に向け走りました。集団登校時間を遅らせ、朝の運動時間が限られていましたが、素早く体操服に着替え、グラウンドを走る子や、全校運動の5分間走で頑張る姿、体育の時間で自分のペースを考えながら走る姿など、どの子も頑張りました。走ることは自分との闘いで、とても苦しいことです。私は、子どもたちに、苦しいことでも、逃げずに強い心でやりぬいてほしいと話し、子どもたちは一生懸命取り組みました。ここでつかんだ強い心を、今後につなげてほしいと思います。



12月8日(土)にはふれあい祭りがあります。子どもたちが学んだことを生かして考えた楽しいお店がいっぱいです。多くの皆様のご来校をお待ちしております。